

世界を、未来を、動かせ。——新時代への挑戦

広告

企画・制作/
読売新聞社広告局

vol.8 専門のクラッチ開発で、次世代車の可能性に挑む。



バックナンバーはWEBで公開中

時代の挑戦は限りなく広がる。(おわり)
の挑戦になる日も遠くないかもしれない。新
空飛ぶクルマを作りたい」。将来の夢が現実
に立てるかな」と笑顔で話す島中。「いつか、
を減らすことができれば、少しは世の中の役

は耐久性向上とコストダウンが課題だ。

「今作っている商品で、ガソリンの消費量
動かせると。メカ屋の発想と技術力を注い
だ機構に、自動車メーカーのエンジニアから
はシンプルで面白い」と評価を得た。安全、
高品質が絶対条件のクルマの部品として、今

として世に出すことになった。

一方で、100年続く技術の蓄積も、
TSUBAKIの強みのひとつ。今回のプ
ロジェクトは、クルマの電動化をターゲッ
トに、チェーンと歯車、クラッチを組み合
わせた動力伝達機構の開発だ。島中ら各商
品の技術者が知見を結集し、新開発商品と
がうれしかった。

電

電動自動車向けの新商品・新機構の開
発。自動車エンジン用タイミン

チェーンシステムで圧倒的シェアを持つ
TSUBAKIが、満を持して挑むプロ
ジェクトと呼ばれ、島中祐仁は奮い立っ
た。二輪車向けクラッチの技術者として、
数々の特許を持つ。「誰かのまねはしたく
ない」。子どものような好奇心と探求心で、
次々と新機構を生み出してきた。大手との
競合に勝ち、ゼロだった二輪車向けシェア
を一気に30%に押し上げた実績もある。新
しい挑戦に、自分の技術が求められること



開発・技術センター 車載新商品開発室

島中 祐仁
SHIMANAKA YOSHIHITO